

マッチング成果報告

自然エネルギーを広めるネットワークちば (Renet Chiba)

CIT ものづくり 3R lab PC 班

協働参加 in パルシステム千葉生協まつり



自然エネルギーを広めるネットワークちば (Renet Chiba)

<http://www.renet-chiba.net/>

代表：板倉 正 (自給エネルギーの会)

<http://www.ennag.wordpress.com/>

活動内容

化石燃料と原子力に頼ったエネルギーから、自然エネルギーへのシフトを目指して、県内の市民団体や生活協同組合などが自主的に集まり、2012年11月から活動を行っているネットワークです。

エネルギーを市民自らが作り出し、まちづくりに生かし、新しい地域のコミュニティづくりや地域経済の活性化につなげてゆくことを目指して、様々な活動を展開しています。今回は団体会員である生活協同組合パルシステム千葉のイベントに自給エネルギーの会とCIT ものづくりが協働でブースを出展し、電気について体験的に学べるブースの出展を企画・仲介することができました。

CITものづくり 3R lab PC 班

アドバイザー：谷合 哲行

<http://183.181.10.17/3Rlab/3Rlabtop.html>

活動内容

千葉工業大学の学生ものづくりプロジェクトのひとつ。2015年からスタートし、学内で廃棄されるPCのリサイクルを通じて電気技術の習得と廃棄物のリサイクルを実践的に学び・紹介するプロジェクトチームです。

今年は非常時でもPCや携帯電話などの通信機器を使用できるようにするため、小型で可搬型の発電システムの開発・改良と、充電利用以外に発電した電力の直接利用について検討しています。

今回はRenetのメンバーである自給エネルギーの会が保有する発電装置をベースに改良を加え、発電量の見える化と直接利用の一方法として、電磁石を利用した発電体験アトラクションを行いました。



ブース全景



パルシステム千葉
うちエコ診断コーナー

本マッチングは、エコメッセちば (<http://www.ecomesse.com/>)の交流会活動をきっかけとして実現されたものです。

2016年10月23日(日) 第41回パルシステム 千葉生協まつり

NPO 法人非電化地域の人々に蓄電池を送る会 (<http://www.offgrid-chiba.com>)の蓄電システムも展示しました。うちエコ診断用のPCの電力はこの蓄電システムで賄いました。



発電した電力は電流計・電圧計で数値化電磁石で吊り上げたクリップの数を競いました。



大人も子どもも
頑張りました!!

お父さんが吊り上げた
クリップ
何個かな??

各種イベントに出展可能です。
ぜひお声がけください。